

一般財団法人 有本積善社 第 54 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和 5 年 5 月 25 日（木）16：00～17:00
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：
委員総数：7名 出席委員数：4名
出席委員の氏名：水嶋純作、山内茂樹、今安博和、楠崇智
欠席委員の氏名：尾関善之、山下美晴、松井恭子、
放送事業者側出席者名：ジェネラルマネージャー 時岡浩二
技術チーフ 上田秀篤

4 議題

(1) 報告事項

- ① 3/8（水）と3/15（水）の朝日新聞（全国版）の教育面に、2/5（日）の市長選挙前後に放送した「10代・20代 舞鶴未来対談」を取り上げた記事が掲載された。
- ② 3/14（火）から毎週火・木曜日 18:30 にユネスコ作文受賞者（小中学生）の作品朗読番組（14分番組）を放送している。朗読部分は受賞者本人の場合とパーソナリティの場合がある。
- ③ 3/19（日）に西市民プラザ 1 階ホールと展示室で、ミニ四駆レース大会を開催（協力：舞鶴電脳工作室）し、100 名以上の参加者があった。
- ④ 新番組：

【4月から】

- ・10代・20代舞鶴未来対談(20分)：
第3土曜日 07:00、(再) 同日 10:00（4月のみ第2土曜日に放送）
- ・こじまはかせの有機物ラジオ（20分）：
第3土曜日 16:00、(再) 翌週火曜日 09:06
（舞鶴高専の准教授がパーソナリティ、4/15の朝日新聞、5/16の舞鶴市民新聞で紹介された）

【5月から】

- ・若狭高浜 BLEU BEACH RADIO（9分、月1回更新、高浜町提供）：
毎週金曜日 17:00、(再) 翌土曜日 9:36、15:30（再）翌日曜日 9:36
 - ・小学校ラジオだより（9分）：
金曜日 17:10（5/26は別番組）、(再)土曜日 15:40、(再)月曜日 9:36
- ⑤ 4/9（日）21:00～22:13に府議選投票速報番組（J-WAVEに割込放送）を編成した。22:07に終了結果を放送した。
 - ⑥ 昨年11/16（水）に研修開始した新パーソナリティ候補のうち、1名は3/29（水）モーニングブリーズ内から現パーソナリティと実習中、もう1名は4/19（水）のBayside Morning Kyotoでデビューした。
 - ⑦ 1/30（月）からの募集に応募した新パーソナリティ候補3名の研修が最終段階進行中。4/15（土）からの新番組「有機物ラジオ」の担当パーソナリティは研修が終了し、5/27（土）のななこウィークエンドプラスで生放送デビュー予定。
 - ⑧ 4/18（火）に開局7周年を記念する特番を編成した。10時：Bayside Morning Kyotoと12時：晴れのちは五老ヶ岳Café ななこから、15時：ななこちゃったラジオはショッピングセンターらぼーるから、19時：Brazilian Talk & Bossa Nova LiveをMusic Bar Hamoから公開生放送した。（16時：Premium Kyotoと17:30：イブニングまいづる530は西市民プラザスタジオから）
 - ⑨ 4/29（土）に舞鶴港第3埠頭周辺で行われた大型音楽イベント：舞鶴Play Back Festival 2023を臨む見樹寺から9:36～19:54に8番組を生中継放送した。

- ⑩ 4/29（土）～5/5（金）に五老ヶ岳公演で、昨年につき「こいのぼりフェスタ」が開催され、これに合わせて、5/2（火）16時のPremium Kyotoをスカイタワー横から生中継放送した。ゲストは同所で交通安全啓発イベントを開催していた京都府交通安全協会様。
- ⑪ 5/28（日）に4年ぶりに行われる「田辺城まつり」について、5/23（火）の「晴れのち775」に実行委員会の方においでいただき、お話しを伺った。
- ⑫ 土曜日午後3時から放送している「田中宏幸の吹奏楽のセカイ」を5月から新潟県のエフエム角田山コミュニティ放送へ番組供給している。

(2) 番組審議：

4/18（火）19:00～20:00 放送

開局7周年記念特番第1部：Brazilian Talk（Music Bar HANOから公開生放送）

ブラジルにゆかりのあるパーソナリティーら3組と司会者とのフリートーク

5 議事の概要

- ① 上記（1）項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記（2）項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

6 審議内容

【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① フリートークが面白いと何をやっても面白い。全部が全部完璧ではないが、原稿を読まない感じがマイナスにならないと分かった。
- ② 火曜16時を担当しているパーソナリティーはよくしゃべっていたので良かった。これまでその番組は聴いたことがなかったが、聴いてみようかなと思わせた。
- ③ 局の番組に出ているパーソナリティーが増えてきているが、皆がこのような特番に出るポテンシャルを持ってくれるのがよい。
- ④ 生放送というのがよかった。台本はあったのだろうが、アドリブもあり臨場感があった。楽しい感じが伝わってきた。
- ⑤ 現地に行っていた。最初、Music Barでのライブとは？と思っていたが、行ってみたら一杯の人。後日、再放送を聴いたが現場の雰囲気と放送は近かった。
- ⑥ 既存のNHKや民放ではなかなか出来ないような放送だった。規模は小さいながら内容はぎゅっと詰まったイベントだった。舞鶴にこだわらずWorld Wideな内容で、聴いている人にもいい影響があったと思う。コミュニティ放送らしい放送だった。
- ⑦ ローカルだけど世界の話しが聴けたのがよかった。今でも海外に行くのはハードルが高いが、若いパーソナリティーが早くから世界に出かけた話しは身近に感じ、その人の人生が分かってよかった。
- ⑧ 何周年といった機会でないとなかなかできない番組で、普段、番組にかかわっている人達の人柄が伝わってくる味の濃い番組だった。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で議論した。上記のような意見を踏まえ、今後の番組編成に生かしていくこととした。（令和5年6月1日）

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和5年6月5日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和5年6月5日 この審議会議事概要をホームページに掲載した。

9 その他の参考事項

2026年に開局10周年を迎えるが、開局に至った経緯を記した本を出版する準備を始めるのはどうかという意見があった。

以上